

協議事項 1 資料

「岩手県教育振興計画（2024～2028）」及び「第2期岩手県スポーツ推進計画」の「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」への位置付けについて

ふるさと振興部

「岩手県教育振興計画（2024～2028）」及び「第2期岩手県スポーツ推進計画」の「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な大綱」への位置付けについて

1 大綱への位置付け

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に基づき策定する、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下「大綱」という。）に位置付けている計画等のうち、「岩手県教育振興計画（2024～2028）」及び「第2期岩手県スポーツ推進計画」を本年3月に策定したことから、当該プランを大綱に位置付けようとするもの。

2 新旧対照表

旧	新
<p>教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱</p> <p style="text-align: right;">平成28年2月8日 策定 令和元年6月3日 改訂 令和2年5月18日 改訂 令和5年6月8日 改訂</p>	<p>教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱</p> <p style="text-align: right;">平成28年2月8日 策定 令和元年6月3日 改訂 令和2年5月18日 改訂 令和5年6月8日 改訂 <u>令和6年6月 日 改訂</u></p>
<p>1 策定の趣旨 (略)</p>	<p>1 策定の趣旨 (略)</p>
<p>2 大綱の内容 大綱は、次の計画等をもって位置付けるものとする。</p> <p>(1) 「いわて県民計画（2019～2028）」長期ビジョン及び第2期アクションプラン（復興推進プラン、政策推進プラン、行政経営プラン）の教育、文化及びスポーツの分野</p> <p>(2) 「岩手県教育振興計画」（平成31年3月 岩手県教育委員会策定）及び「第3期岩手県文化芸術振興指針」（令和2年3月策定）、「岩手県スポーツ推進計画」（平成31年3月策定）</p> <p>(3) 今後、総合教育会議において、知事と教育委員会が大綱に位置付けるものとして合意した計画</p>	<p>2 大綱の内容 大綱は、次の計画等をもって位置付けるものとする。</p> <p>(1) 「いわて県民計画（2019～2028）」長期ビジョン及び第2期アクションプラン（復興推進プラン、政策推進プラン、行政経営プラン）の教育、文化及びスポーツの分野</p> <p>(2) <u>「岩手県教育振興計画（2024～2028）」（令和6年3月 岩手県教育委員会策定）、</u><u>「第3期岩手県文化芸術振興指針」（令和2年3月策定）及び「第2期岩手県スポーツ推進計画」（令和6年3月策定）</u></p> <p>(3) 今後、総合教育会議において、知事と教育委員会が大綱に位置付けるものとして合意した計画</p>

教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱

全文

平成 28 年 2 月 8 日 策定
令和元年 6 月 3 日 改訂
令和 2 年 5 月 18 日 改訂
令和 5 年 6 月 8 日 改訂
令和 6 年 6 月 日 改訂

1 策定の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 条の 3 第 1 項の規定に基づき、本県における教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下「大綱」という。）として、本県の教育、学術及び文化に関する総合的な施策について、その目標や方向性を定めるものである。

2 大綱の内容

大綱は、次の計画等をもって位置付けるものとする。

- (1) 「いわて県民計画（2019～2028）」長期ビジョン及び第 2 期アクションプラン（復興推進プラン、政策推進プラン、行政経営プラン）の教育、文化及びスポーツの分野
- (2) 「岩手県教育振興計画（2024～2028）」（令和 6 年 3 月 岩手県教育委員会策定）、「第 3 期岩手県文化芸術振興指針」（令和 2 年 3 月策定）及び「第 2 期岩手県スポーツ推進計画」（令和 6 年 3 月策定）
- (3) 今後、総合教育会議において、知事と教育委員会が大綱に位置付けるものとして合意した計画

【計画の位置付け】

- ・本県の教育振興基本計画 (教育基本法第17条第2項)
- ・本県の教育振興の取組の指針

いわて県民計画(2019~2028) 基本目標
 「東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」

新たな教育振興基本計画 コンセプト
 ・2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成
 ・日本社会に根差したウェルビーイングの向上

第1章 岩手の教育をめぐる状況

1 岩手の教育の歩み

- ・学制150周年
- ・新たな学習指導要領の実施
- ・教育振興運動、いわて教育の日の取組
- ・諸調査の活用による組織的な授業力の向上
- ・県立博物館、美術館、図書館における学び
- ・文化、スポーツ分野での多くの子どもたちや本県出身者の活躍
- ・新たな世界遺産、ユネスコ無形文化遺産の登録

2 前計画期間中の成果と課題

【成果】

- ・学校のICT環境、冷房設備等の整備完了
- ・児童生徒の体力・運動能力⇒高い水準
- ・地域等と連携・協働による教育活動の充実
- ・全市町村でコミュニティ・スクールを導入
- ・SNSを活用した情報提供の充実

【課題】

- ・岩手の産業等を担う人材の育成等
- ・ICTのより効果的な活用
- ・多様な体験活動等の一層の充実
- ・運動に親しむ機会の確保等
- ・教育的ニーズに対応した指導・支援体制の充実
- ・増加傾向にあるいじめや不登校児童生徒への対応
- ・社会情勢の変化に対応した教育環境の整備
- ・私立学校の教育の充実に向けた支援
- ・教育振興運動や地域学校協働活動の充実
- ・家庭教育を支える環境づくり
- ・多様な人材の育成や学習コンテンツの充実
- ・文化財の適切な保存・継承と活用

3 社会状況の変化と今後の展望

- ①新型コロナウイルス感染症への対応
- ②少子化・人口減少と高齢化の進行
- ③社会全体のデジタル化の進展
- ④グローバル化の進展と持続可能な社会づくり
- ⑤東日本大震災津波からの復旧・復興

10の政策分野の取組方向

- (1)健康・余暇 ~健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手~
- (2)家族・子育て ~家族の形に応じたつながりや支え合いが生まれ、また、安心して子育てをすることができる岩手~
- (3)教育 ~学びや人づくりによって、将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手~
- (7)歴史・文化 ~豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育てている岩手~

子どもたちの意見
 夢や目標をかなえたい! 地域のことをもっと知って何ができるか考えたい!

第2章 目標・取組の視点

基本目標

学びと絆で 夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり
 ~ 自分らしい生き方の実現に向けた 新たな時代のいわての教育 ~

学校教育における目指す姿

岩手の子どもたちが、自分らしくいきいきと学び、夢を育み、希望あるいわてを創造する「生きる力」を身に付けている

社会教育・家庭教育における目指す姿

主体的・協働的な学びを通じて、地域や家庭におけるつながりや支え合いが生まれ、県民一人ひとりが、自分らしくいきいきと学び、暮らしている

取組の視点

- ① 一人ひとりの可能性を伸ばす学びの確保
- ② 郷土に誇りと愛着を持ち、岩手で世界で活躍する人材の育成
- ③ 岩手らしさを生かした生涯にわたる学びの充実
- ④ 教育分野におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- ⑤ 東日本大震災津波の経験や教訓を踏まえた学びの推進

今後の教育政策に関する基本的な方針

- ①グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
- ②誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進
- ③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
- ④教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- ⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話

第3章 具体的な施策の内容

【学校教育】

- 1 岩手で、世界で活躍する人材の育成
- 2 確かな学力の育成
- 3 豊かな心の育成
- 4 健やかな体の育成
- 5 共に学び、共に育つ特別支援教育の推進
- 6 いじめ問題への確かな対応と不登校対策等の推進
- 7 学びの基盤づくり
- 8 多様なニーズに応じた私立学校教育の推進

【社会教育・家庭教育】

- 9 学校と家庭・地域との協働の推進
- 10 子育て支援や家庭教育支援の充実
- 11 生涯にわたり学び続ける環境づくり
- 12 次世代につなげる民俗芸能や文化財の継承

◎岩手県教育振興計画(2024~2028)の具体的な施策の内容

【学校教育】

1 岩手で、世界で活躍する人材の育成

- ① 「いわての復興教育」などの推進
- ② キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成
- ③ 岩手と世界をつなぐ人材の育成
- ④ イノベーションを創出する人材の育成

2 確かな学力の育成

- ① これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成
- ② 児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実
- ③ 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進

3 豊かな心の育成

- ① 自他の生命を大切にし、人権を尊重する心の育成
- ② 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成
- ③ 学校における文化芸術教育の推進
- ④ 主権者教育などによる社会に参画する力の育成

4 健やかな体の育成

- ① 児童生徒の健康の保持・増進に向けた対策の充実
- ② 適切な部活動体制の推進

5 共に学び、共に育つ特別支援教育の推進

- ① 就学前から卒業後までの一貫した支援の充実
- ② 各校種における指導・支援の充実
- ③ 教育環境の充実・県民理解の促進

6 いじめ問題への確かな対応と不登校対策等の推進

- ① いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対処
- ② 児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進
- ③ デジタル社会における児童生徒の健全育成に向けた対策の推進

7 学びの基盤づくり

- ① 安全・安心でより良い教育環境の整備
- ② 生まれ育った環境に左右されない教育機会の確保
- ③ 目標達成型の学校経営の推進
- ④ 魅力ある学校づくりの推進
- ⑤ 多様な教育ニーズに対応する教育機会の確保
- ⑥ 教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上
- ⑦ 「岩手県教職員働き方改革プラン」に基づく教職員の働き方改革

8 多様なニーズに応じた私立学校教育の推進

- ① 各私立学校の建学の精神などに基づく特色ある教育活動の支援
- ② 私立学校の耐震化の支援や教育環境の整備促進

【社会教育・家庭教育】

9 学校と家庭・地域との協働の推進

- ① 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり
- ② 豊かな体験活動の充実

10 子育て支援や家庭教育支援の充実

- ① 子育てや家庭教育に関する学習機会の提供
- ② 子育てや家庭教育を支える環境づくりの推進

11 生涯にわたり学び続ける環境づくり

- ① 多様な学習機会の充実
- ② 岩手ならではの学習機会の提供
- ③ 学びと活動の循環による地域の活性化
- ④ 社会教育の中核を担う人材の育成
- ⑤ 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実

12 次世代につなげる民俗芸能や文化財の継承

- ① 部活動や地域と連携した取組などを通じた民俗芸能の保存と継承
- ② 伝統文化、文化財などを活用した交流の推進

岩手県教育振興計画(2024~2028)の策定の参考とするため、子どもからの意見聴取を実施しました。

【意見聴取の概要】

1 対象

県内の学校に通う小学校5年生から高校3年生までに相当する個人またはグループ(特別支援学校、高等専門学校、専修学校を含む。)

2 方法

個人で所有する端末又は学校で配布されている端末等を利用したオンライン調査(無記名/任意)

3 期間

令和5年7月25日(火)~8月25日(金)

4 調査項目

①校種

②関心があるテーマと選択したテーマについての記述

5 回答数 3,965件

「第2期岩手県スポーツ推進計画（2024～2028）」の概要

第1章

1 策定の趣旨

- (1) 国において、2022年3月に第3期スポーツ基本計画を策定
- (2) 2019年RWC釜石開催、2022年日本スポーツマスターズ等の大規模大会開催のレガシーの継承
- (3) 本県出身のスポーツ選手の海外での活躍による、県民のスポーツ機運の高まり

スポーツの推進により、県民の幸福で豊かな暮らしが実現するよう、県民をはじめ市町村やスポーツ関係団体等と連携・協働し、県が総合的かつ計画的に取り組む施策を示すもの

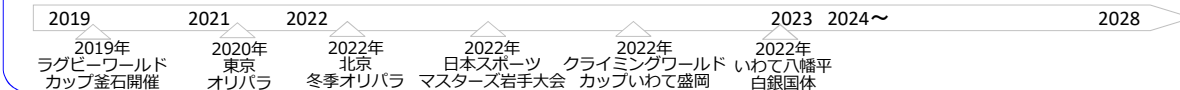
2 計画の位置付け

- (1) 「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランに示している目標や取組等を具体化する個別計画
- (2) スポーツ基本法第10条に基づく「地方スポーツ推進計画」

3 計画の期間

2024年度から2028年度（5年間）

第2期岩手県スポーツ推進計画



第2章

1 目指す姿

スポーツの推進による県民誰もが健やかで輝く岩手の創造

【多様な主体との連携】市町村やスポーツ関係団体など、多様な主体と連携し、幅広い分野に関わるスポーツ施策の展開やDXの活用など新たな取組を推進

第3章

4つの施策の 主な取組内容

1 ライフステージに応じて 楽しむ生涯スポーツの推進

(1) スポーツ参画人口の拡大

- ①スポーツを楽しむ機会の充実
- ②総合型地域スポーツクラブの充実
- 新・指導者の確保や資質向上等に向けた取組の支援
- ③スポーツを通じた健康増進
- 新・スポーツデータを活用した健康づくりの拠点づくりに向けた取組の推進
- 新・「レッツ！べっこトレ」等による健康づくり等

(2) 子どものスポーツ機会の充実

- ①学校体育の充実
- ②運動部活動の充実
- 新・休日における地域の環境整備の推進
- ③地域における子どものスポーツ機会の充実
- 新・地域クラブ活動への移行に向けた取組の推進

(3) 成人のスポーツ機会の充実

- ①働く世代のスポーツ参画人口の拡大
- ②高齢者のスポーツ参画機会の充実

(4) スポーツに関わる多様な人材の確保・育成

- ①地域スポーツを支える人材の育成
- ②スポーツボランティアの養成の促進
- ③スポーツ団体の組織・連携体制の強化
- 拡・「いわてスポーツプラットフォーム」の意見を踏まえたスポーツ振興の推進
- ④スポーツ功労者の表彰の実施

(5) スポーツを楽しむ環境の整備

- ①県有スポーツ施設のストックの適正化
- 新・あり方検討を踏まえ次期個別施設設計画の策定
- ②地域スポーツ資源の有効活用・利用促進
- 新・県営スポーツ施設等の予約システムの利用促進

2 共生社会型スポーツの 推進

(1) 障がい者スポーツ等の推進

- ①障がい者のスポーツやその他のスポーツの参画機会の充実
- ・県障がい者スポーツ大会、各種スポーツ教室等への開催や全国障害者スポーツ大会への選手派遣
- ・教員の資質向上、体育の授業改善等による、児童生徒の運動習慣の定着化
- 新・インクルーシブスポーツへの関心の高まりを契機とした取組の推進

②障がい者がスポーツを楽しむ環境の整備

- ・公認パラスポーツ指導員の養成研修の実施
- 拡・スポーツ施設のバリアフリー化等障がい者が利用しやすい環境の整備の促進

(2) 高齢者スポーツの推進（再掲）

- ①高齢者のスポーツ参画機会の充実
- ・ねんりんピックへの選手団派遣及びいわてねんりんピックの開催支援
- ②スポーツを通じた健康増進
- 新・スポーツ医・科学の知見を生かした健康づくりの拠点づくりに向けた取組

(3) スポーツにおける女性の活躍推進

- ①女性のスポーツ参画機会の充実
- ・市町村や総合型クラブ等のスポーツ教室やプログラムの多様化の促進
- ②女性がスポーツを楽しむ環境の整備
- ・アスレティックトレーナー、いわてアスレティックトレーナーの活用

3 国際的に活躍する 競技スポーツの推進

(1) アスリートの発掘・育成

- ①次世代アスリートの発掘・育成
- 拡・「いわてスーパーキッズ」におけるタブレット端末等を活用したアスリート育成の推進
- 拡・中長期的な視点に立ったジュニア期からの競技力向上の推進
- ②国内外で活躍するアスリートの育成
- ③アスリートが競技生活を継続できる環境の整備
- 拡・「岩手スポーツアスリート無料職業紹介所」によるアスリートの県内就職の推進
- ④スポーツ優秀選手の表彰

(2) 競技力向上を支える人材の育成

- ①指導者の資質向上
- ・全国で活躍する指導者との連携
- 新・映像データ分析等デジタル技術を活用した競技力向上の推進
- ②アスリートのサポート人材の育成

(3) 競技力向上を支える環境の整備

- ①スポーツ医・科学、情報等を活用した支援
- 新・スポーツデータを活用し、効果的なトレーニングに結びつけるための拠点づくりに向けた取組の推進
- ・アスレティックトレーナー、いわてアスレティックトレーナーの活用
- ②競技団体の組織強化
- 新・スポーツ団体等の女性役員の登用等、女性がスポーツをしやすい組織づくりに向けた取組の推進

4 地域を活性化させる スポーツの推進

(1) 地域の活力につながるスポーツの推進

- ①スポーツコミッションやトップ・プロスポーツチームと連携した地域活性化の推進
- ・大会・合宿等の誘致
- ・トップ・プロスポーツチームによるスポーツ教室の開催等
- ・スポーツアクティビティの普及
- ②大規模スポーツ大会を契機とした人的交流の推進
- ・「釜石鶴住居復興スタジアム」の利活用等による地域活性化
- 新・「ラグビー県いわて」の情報発信
- 新・東京2020大会を契機とした、被災地でのスポーツ交流による本県の魅力発信と震災伝承の取組推進

(2) 経済の活性化につながるスポーツの推進

- ①大規模スポーツイベント等と連携した市場開拓等への支援
- ・大規模スポーツイベント等の機会を活用した、県産農林水産物をはじめとする県産品のPR、販路拡大等
- ②トップ・プロスポーツと連携した市場開拓等への支援
- ③スポーツビジネスの創出・拡大
- ・各種スポーツ団体等と市町村や民間事業者等との連携による新たなスポーツビジネスの創出

- 新・第2期計画に新たに記載する取組
- 拡・現計画に記載の取組を拡充する取組